

10 北信地域

<地域の環境特性>

- ・ ほぼ中央を千曲川が流下し、東は上信越高原国立公園の三国山脈に、西から北にかけては関田山脈に囲まれた自然豊かな地域です。高社山を境に北部は日本有数の豪雪地帯となっています。
- ・ 上信越高原国立公園の中心を占め、ユネスコエコパークにも指定されている志賀高原には、高層湿原など貴重な生態系が残り、鍋倉高原やカヤの平高原にはブナの原生林が広がっています。また、亜高山性植物や天然林が残る鳥甲山は県自然環境保全地域に指定されています。
- ・ 唱歌「故郷」にうたわれた心安らぐ原風景が広がる高社山麓・千曲川下流域は、景観育成重点地域*に指定されているほか、福島新田や八ヶ郷用水に象徴される農村文化が守り継がれています。
- ・ 十三崖のチョウゲンボウ繁殖地や黒岩山のギフチョウとヒメギフチョウの混生地、志賀高原石の湯のゲンジボタル生息地が国の天然記念物に指定され、また、飯山市には指定希少野生動物植物であるオオルリシジミが生息しています。これらの貴重な生物を守るため、地域の人々による保護活動が行われています。
- ・ 龍興寺清水（平成の名水百選）、谷巖寺の井戸「延命水」・北野天満温泉湧水（信州の名水・秘水）など豊かな水資源が大切に保全されています。



ユネスコエコパークに指定されている志賀高原



希少野生動物植物 オオルリシジミ

<実施施策>

(1) ふるさとの自然を守り共生する地域づくり

- ・ 自然保護レンジャーや地域の関係団体との連携を深め、自然公園の適正利用による自然保護活動やオオルリシジミなど希少野生動物植物の保護回復活動を支援します。
- ・ 千曲川や高社山の眺望を背景に水田や果樹園、菜の花畑が広がるふるさとの景観を育成するため、住民主体による取組を推進するとともに、心安らぐ棚田や水辺景観の保全を図ります。
- ・ 生態系に大きな影響を及ぼすアレチウリなどの特定外来生物に関する啓発を行い、関係機関や住民との協働による駆除活動を推進します。

- ・ 自然観察インストラクターによる水辺観察会や自然観察会を開催するとともに、環境学習の場としてユネスコエコパークを積極的に活用するなど、自然とふれあう学習機会の提供に努めます。
- ・ 北陸新幹線飯山駅の開業を新たな契機として、森林セラピー・エコツーリズムなど地域の豊かな自然や歴史文化を活かした体験型観光を推進します。



菜の花公園 (飯山市)



福島新田の田植え体験 (飯山市)

(2) 良好な生活環境の維持・保全

- ・ 遊休荒廃地の解消や里山の整備、地域ぐるみで行う農業用水などの維持管理を進め、農山村の多面的機能の維持・発揮に取り組みます。
- ・ 「信州の環境にやさしい農産物認証制度」の認定取得を支援するなど、化学肥料や化学合成農薬の使用量を削減した持続可能な農業を推進します。
- ・ ツキノワグマ・イノシシなど野生鳥獣による農林業等への被害を防止するため、集落ぐるみによる捕獲対策・防除対策・生息環境対策を推進します。
- ・ 市町村と連携して豊かな水資源の保全対策を進めるとともに、下水道への接続や浄化槽の普及に努め、良好な水環境の保全を図ります。
- ・ 循環型社会の形成に向け、廃棄物の排出抑制など3Rを推進する気運を高めるとともに、事業者に対する監視指導を徹底し、廃棄物の適正処理を進めます。

(3) 協働で進める自然エネルギーの活用と温暖化防止対策

- ・ 太陽光・小水力・雪氷熱など地域特性を踏まえた自然エネルギーの普及を図り、自然エネルギーを活用した地域づくりを市町村や関係団体と協働で進めます。また、地域の基幹産業であるきのこ栽培から発生する使用済み培地*の有効活用や豊富な木質バイオマス資源の活用を進めます。
- ・ 地域木材の利用拡大や計画的な間伐を進め、地域経済の活性化と地球温暖化防止に貢献する森林づくりを推進します。
- ・ 家庭や事業所において省エネルギーに取り組む気運を高めるとともに、マイバッグの持参や、エコドライブ、アイドリングストップ運動などを地域ぐるみで推進します。